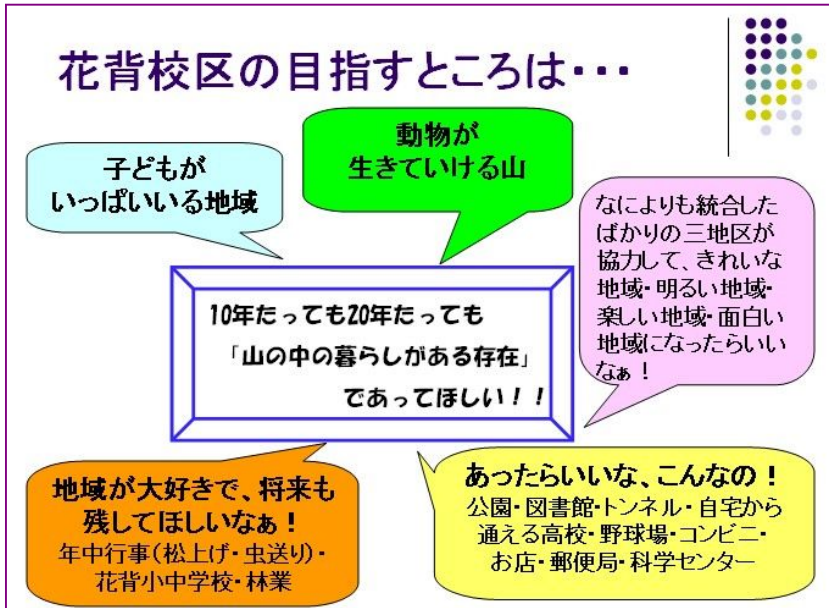


子どもたちの意見から見えてきた 花背校地域の目標を発信します



学校運営協議会

花背小中学校の学校運営協議会（花背コミュニティー）は1月24、25日と27日に会議を開き、花背校区がめざす目標（左）を確認し、校区のすべての住民に発信していくことを決めました。

この目標は地域内外から寄せられた700を超える意見を分析する中で、それらが花背校の児童生徒から寄せられた意見に集約されていることがわかり、子どもたちの言葉でまとめたものです。

地域内外の交流事業を中心に

会議ではまた、地域の目標を実現していくための具体的な行動計画を考えました。すべてを決めるには至りませんでした。さしあたり「子どもがいっぱいいる地域」「3地域の協力」を具体化するために「山の家 長期宿泊体験事業」での民泊の実施と定住・移住の促進を目指した地域内外の交流事業をすすめることになりました。



全体会議 27日

できる人が できる時に できることから 始めてみよう!!

地域内の意見では「役が多すぎる」「声をかけても動いてくれない」といった悩みも出されました。会議ではそれらをすべて認めただけで、行動にあたっては「できる人ができる時にできることから始める」を指針とすることを確認しました。



ワークショップで意見を分類 24日

どう思われますか 子どもたちの意見です

- ・ 図書館、科学センター、服屋さんがあったらいいなあ。
- ・ きれいな地域、明るい地域、楽しい地域、おもしろい地域になったらいいなあ。
- ・ 花背山の家、花背小中学校を将来残してほしい。公園ができてほしい。（ココが好き）
- ・ 10年たって、20年たって「山の中の暮らしがある存在」であってほしいと思います
- ・ 好きな地域行事は「松上げ」「虫送り」「森都市フェスティバル」などです。なぜなら「松上げ」はいるんな人たちが来て賑わいます。「虫送り」は「ねーむーし、はーむーし…」とうたうことがいいなと思います。フェスティバルは都会の人達に「山の中にもこんな行事があって楽しいよ！」という思いが伝わるのでいいと思います。

裏面につづきます

- 鹿やきつね、さる、いのししまでもが住めるとてもいい空気がなくならないようにしたいです。鹿肉にはちょっとかわいそうだけど、「こんなものが食べられてありがたいな」と思います。わたしは自分で殺してまで食べる、というのがいやです。私は「いのししやさるはがんばって生きているんだ！いのししやさるがもっと気持ちよく住めるためには、どうしたらよいのだろう」と時々鹿などの動物を見ると思います。はねられたあとを見たら「かわいそう」と思います。でも動物が生きていけるからでこそ、私たちが生きていけるのだと思います。
- 山や自然が今みたいにあってほしい。
- 自然をそのままのこしてほしい。
- 広河原の近くに安いお店が建ってほしい。

- この地域には足りないものがたくさんあるけど、私はこの地域が大好きです。このまま町の中になるのは、少し、動物のことを思うと「あかん」と思います。
- 山の木を切り倒して開発するより、使われていない空き地や畑としては悪い環境の場所に（浄水場など）建てて、むだをなくしてほしい。また、開発のせいで、景観や環境がこわれるようなことはしてほしくない。
- もっと人が来てほしいので、できるだけ森林を守りながら道路付近などに家があったらいいと思う。ついでながら、公園のようなもの（広い空き地や今の花背小中学校の裏山など）があればいいと思う。
- 虫がいっぱいいるところ。

- なによりも、統合したばかりの三地域がうまく協力していけたらいいと思う。
- 宣伝でよくあるように、家をたくさん建てて呼ばいいのではなく、どっちかというと土地を売ってそこに自分で建ててもらったりして、余らないようにしてほしい。
- 図書館、コンビニ、屋根付公園（安全地帯）、郵便局（すぐに届けられる）
- 学校の中に遊ぶスペースがほしい。（ゆかいな部屋みたいな）花背に図書館がほしい。
- 野球場...夜間照明付き、ドーム付き
- 図書館...学校の下に建設。地域のための図書館。
- トンネル...花背峠を一直線に突きぬける。時間短縮、雪の日の安全等。
- 自然は今の状態よりもっとよくなってほしい。

- 高校...近場の高校があったらいい。自宅から通うことができる。
- 観光客がいっぱい来て、ごみの増えない地域になったらいい。林業が盛んな地域になったらいい。工場のない地域がいい。
- 近くに公園ができてほしい。
- 3地域がいっしょになってほしい。
- 川にオオサンショウウオが増えてほしい。
- いろんなことに協力し合う地域になってほしい。
- 地域の年中行事は大好きで、将来も残してほしいなあ。
- やっぱり水がきれいで、空気もきれいであるこの地域は、すごく好きなので、何年たってもこのままがつづくようになってほしい。
- 子どもがいっぱいいる地域になってほしい。

重い雪にも負けず かまくら完成

蕎麦打ち 奥出さん（久多中の町）



「重い」と誰もが言う今年の雪。その重い雪にもめげずに奥出さんとその仲間みなさんが1月17,18日に大きなかまくらを完成させ評判を呼んでいます。

このかまくらは、奥出さんが考案して作った台形の木製箱型で固めた雪ブロックを積み重ねて作られました。「二日間で延べ13名の労働でした。分厚い壁に囲まれた中は、持ち込んだコンロの炭のぬくもりで意外と暖かく会話も弾みます」と奥出さん。



かまくらの内部
栃餅ぜんざい

(お問合せ 748-2024 または <http://blog.goo.ne.jp/nukazuke5>)